

千葉聴覚障害者センター 令和7年度介護職員初任者研修 【カリキュラム】

＜使用教材： 改訂版介護初任者研修テキスト(公益財団法人 介護労働安定センター出版) ＞

科 目	ねらい	提出物/評価基準等	項 目 及 び 内 容	時間数
開講式			意義・目的・事務連絡	
1 職務の理解	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき「在宅におけるケア」等の実践について具体的なイメージを持って実践的にとり取り組めるようになる。	・理解度確認テスト ・レポート提出	1-1 多様なサービスの理解 ・介護保険サービス（居宅・施設） ・介護保険外サービス	4
		・理解度確認テスト ・レポート提出	1-2 介護職の仕事内容や働く現場の理解 ・介護職の仕事内容 ・サービス提供の実際	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動を理解する。	・理解度確認テスト ・レポート提出	2-1 人権と尊厳を支える介護 ・人権と尊厳の保持 ・I C F ・Q O L ・ノーマライゼーション ・虐待防止・身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要	9
		・理解度確認テスト ・レポート提出	2-2 自立に向けた介護 ・自立支援 ・介護予防	
3 介護の基本	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性・職務におけるリスクとその対応策を理解する。 介護を必要とする人の個別性を理解し、その生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。	・理解度確認テスト ・レポート提出	3-1 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ・介護環境の特徴 ・介護の専門性 ・介護に関わる職種	6
		・理解度確認テスト ・レポート提出	3-2 介護職の職業倫理 ・法令遵守 ・利用者の個人の尊厳と介入	
		・理解度確認テスト ・レポート提出	3-3 介護における安全の確保とリスクマネジメント ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・緊急時に必要な知識と対応方法 ・感染症対策	

			3-4 介護職の安全 ・ 介護職の心身の健康管理	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・職務について、その概要のポイントを列挙できる。	・ 理解度確認テスト ・ レポート提出	4-1 介護保険制度 ・ 介護保険制度創設の背景と目的・動向 ・ 仕組みと基礎的理解 ・ 制度を支える財源・組織・団体の機能と役割 ・ 医療保険制度の概要 ・ 年金保険制度の概要	
		・ 理解度確認テスト ・ レポート提出	4-2 医療との連携とリハビリテーション ・ 高齢者の服薬と留意点 ・ 経管栄養、吸引、吸入、浣腸など ・ 健康チェック ・ 訪問看護 ・ リハビリテーション医療の意義と役割 ・ リハビリテーション医療の過程 ・ 訪問・通所・地域リハビリテーション	9
		・ 理解度確認テスト ・ レポート提出	4-3 障害福祉制度及びその他制度 ・ 制度創設の理念・背景と目的 ・ 制度の仕組みと基礎的理解 ・ 個人の権利を守る制度の概要	
5 介護におけるコミュニケーション技術	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は1人ひとり異なる、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められている、初任者として最低限の取るべき行動例を理解する。	・ 理解度確認テスト ・ レポート提出	5-1 介護におけるコミュニケーション ・ コミュニケーションの意義と目的、役割 ・ コミュニケーションの手段と技法 ・ 利用者・家族への基礎知識 ・ 利用者・家族への対応の実際 ・ 利用者の状況・ 状態に応じた対応	6
		・ 理解度確認テスト ・ レポート提出	5-2 介護におけるチームのコミュニケーション ・ 記録による情報の共有化 ・ 報告・連絡・相談 ・ コミュニケーションを促す環境	
6 老化の理解	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。	・ 理解度確認テスト ・ レポート提出	6-1 老化に伴うこころとからだの変化と日常 ・ 老年期の発達と心身の変化の特徴 ・ 心身の機能の変化と日常生活への影響	6
		・ 理解度確認テスト ・ レポート提出	6-2 高齢者と健康 ・ 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・ 高齢者に多い病気と生活上の留意点	

7 認知症の理解	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。	・理解度確認テスト ・レポート提出	7-1 認知症を取り巻く状況 ・認知症ケアの理念	6
		・理解度確認テスト ・レポート提出	7-2 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ・認知症の概念と原因疾患・病態 ・原因疾患別ケアのポイントと健康管理	
		・理解度確認テスト ・レポート提出	7-3 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ・生活障害、心理・行動の特徴 ・利用者の対応	
		・理解度確認テスト ・レポート提出	7-4 家族への支援 ・家族との関わり方	
8 障害の理解	障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。	・理解度確認テスト ・レポート提出	8-1 障害の基礎的理解 ・障害の概念と ICF	3
		・理解度確認テスト ・レポート提出	8-2 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ・肢体不自由 ・内部障害 ・視覚障害・聴覚障害 ・音声・言語・咀嚼機能障害 ・精神障害 ・統合失調症 ・躁うつ病 ・神経症性障害 ・アルコール依存症 ・知的障害 ・発達障害 ・ダウン症 ・高次脳機能障害	
		・理解度確認テスト ・レポート提出	8-3 家族の心理、かかわり支援の理解 ・家族の心理・かかわり支援	
9 こころとからだのしくみと生活	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、	・理解度確認テスト ・レポート提出	9-1 介護の基本的な考え方 ・理論に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護	2

支援技術	基礎的な介助等の介護が実施できる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。	・理解度確認テスト ・レポート提出	9-2 介護に関するところのしくみの基本的理解 ・学習と記憶に関する基礎知識 ・感情と意欲に関する基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因	5
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ・健康チェックとバイタルサイン ・骨・関節・筋肉に関する基礎知識 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識	5
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-4 生活と家事 ・家事援助の基礎知識と生活支援 ・家事援助の技法(調理・洗濯・掃除等) ・ベッドメイキングの必要な基礎知識と方法 <備品等> ベッド・シーツなど	6
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-5 快適な居住環境整備と介護 ・快適な居住環境に関する基礎知識 ・介護保険による住宅改修 ・福祉用具に関する基礎知識	3
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-6 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術 <備品等> ベッド・衣類・タオル・洗面道具など	6
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・移動・移乗に関する基礎知識 ・移動・移乗のための用具と活用方法 ・負担の少ない移動・移乗と支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 <備品等> ベッド・車椅子など	12

		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-8 食事に関連したところとからだのしくみと自立にむけた介護 ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備と用具の活用方法 ・楽しい食事を阻害する要因と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 <備品等> 食器・エプロン・口腔ケア用品など	6
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-9 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・入浴と清潔保持に関する基礎知識 ・入浴と整容の用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因と支援方法 <備品等> ベッドなど	6
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-10 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因と支援方法 <備品等> ベッド・ポータブルトイレ・尿器など	6
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-11 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因と支援方法 <備品等> 枕・毛布など	4.5
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-12 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 ・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程とこころの理解 ・苦痛の少ない死への支援と他職種との連携	1.5
		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-13 介護過程の基礎的理解 ・科学的思考と介護過程 ・介護過程の展開に必要な構成要素	2

		・理解度確認テスト ・レポート提出	9-14 総合生活支援技術演習 ・事例による展開 (衣服の着脱・移動・食事・口腔ケア・排泄・入浴) <備品など> ベッド・車椅子・P T・尿器など	10
振り返り	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研さんする姿勢の形成、学習課題の認識を図る。	・理解度確認テスト ・レポート提出	10-1 振り返り ・研修をとおして学んだこと	4
		・理解度確認テスト ・レポート提出	10-2 就業への備えと研修終了後における継続的な研修 ・介護の理解と現任者研修 ・介護現場で求められるO J T ・介護職のキャリアにつながるO J T	
実習	実際に介護事業所の見学を実施し、利用者への対応方法を学ぶ	・レポート提出		2
全科目合計時間数				130 時間

修了評価テスト	全科目を履修後、筆記試験を実施し、修了認定会議において評価する。評価基準は 100 点満点中 70 点。基準に達しない場合は、基準に達するまで再評価を行う。		上記とは別に 1 時間	24 日
---------	--	--	-------------	------